いただいています。民生委員は研修会やいろんな行事に参加しますので、皆さんその実費に充てています。民生委員はたくさん手当があると誤解されている方もいるのですが、正直申し上げてこれだけの活動費はいただいています。しかし、民生委員は年に１度、自分たちが単位民児協に会費を納めるという制度があります。各単位民児協で金額は違うのですが２千円から１万円納めるところもあり、自分たちで会費を払いながら活動をしている部分もあるわけです。津市の民生委員児童委員連合会の場合は、各単位民児協の612人から３千円ずついただいて、運営費に充てています。いまだに「民生委員さんってたくさんもらっていますよね」と言われることが一番残念で、時々そのようなことを言われてがっかりされる民生委員さんがいることも分かっていただきたいです。

市長　社会に貢献しようというお気持ちから民生委員をお受けいただいていることであろうかと思います。そんな歴史を重ねてきた民生委員制度が100周年ということでいろいろな行事が行われますが、津の場合は津まつりで広く民生委員児童委員のことをＰＲすることもお考えのようですね。

無報酬のボランティア 手当を誤解され残念…

速水　全国では７月８～10日に東京で大会があり１万人が集まりました。三重県では９月12日に県総合文化センターで100周年記念行事を行います。津市も何かしたいということで21人の会長さんたちにお尋ねしたところ、外部へ向けてアピールしたいという声が上がりました。それではせっかくですから10月の津まつりで何かしましょうということになった次第です。民生委員は踊りもできませんので、社会福祉協議会のテントの横で風船アートをしたり、民生委員の活動を掲示したり、パレードに参加したりしようと考えています。津まつりで踊りも何もしないグループは、あまりないのではないでしょうか。ぞろぞろと歩くだけになるかもしれませんが、外へ向けて民生委員制度100周年をアピールしようと計画しています。

市長　速水さんがどんな衣裳で登場されるのか楽しみですね。

速水　いえいえ。私は裏で静かにしています。

市長　ここまでお話を伺ってまいりましたが、民生委員児童委員さんが地域福祉に大きな役割を

果たしていることは、まぎれもない事実でございます。津市社会福祉協議会、地区の社会福祉協議会の皆さんと力を合わせて地域の一つ一つのことをしてくださっていると思います。自治会との連携に加え、地域における高齢者や子どもたちの見守りをしていただいておりますが、これからの活動や在り方、こんな風にしていきたいという思いをお話しいただけますか。

速水　津市の民生委員というだけでなく、国の方でも地域共生社会の実現というテーマで「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部が今年の２月に創設されたと伺っています。地域で民生委員だけでなく自治会さん、老人会さん、近隣の方々も含めた共生社会を作っていかないと、少子高齢化が進み地域の縁が薄くなってきている中では安心して暮らせる社会ができていかないと思います。他の団体とも協力しながら、地域の安心安全な生活ができていくような形を作っていきたいと思っています。

市長　地域のつながりをしっかり作っていこうということですね。民生委員さんの活動はお一人お一人の活動ですが、その力が積み重なって地域の力になるのだと思います。100年続いてきた制度がますます発展し、民生委員さん児童委員さんのさらなるご活躍を心から期待しております。

市長対談は津市ホームページ・市長の部屋の市長対談でもご覧いただけます。　HP 津市　市長対談　検索